

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(可搬型重大事故等対処設備の設計方針)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別, 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/2/7	NS2-添1-027(比)	比較表(VI-1-1-7-別添2)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針)	P.33	ボンベラックとボンベカードルを採用する設計の考え方について説明すること。また、対象物について記載を検討すること	今回回答 ボンベカードルを採用する設計の考え方、及びボンベカードルを採用する設備について、記載を追加しました。	NS2-添1-027改01 VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針 P.6 NS2-添1-027改01(比) 先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針) P.12		
2	2022/2/7	NS2-他-039	工認記載適正化箇所	島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(可搬型重大事故等対処設備の設計方針)	No.4	適正化内容について、具体的な記載となるよう検討すること。	今回回答 ボンベ設備は、ラック以外にボンベカードルもあることから、「ラック等」と記載している旨、追記しました。	NS2-他-281 島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(可搬型重大事故等対処設備の設計方針) No.4		

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(可搬型重大事故等対処設備の設計方針)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-添1-027	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.2	屋外の可搬型重大事故等対処設備について、詳細検討の結果、飛散して外部事象防護対象設備又は同じ機能を有する他の重大事故等対処設備に影響を及ぼさないことを確認したことから、屋外の可搬型重大事故等対処設備の固縛に関する記載を修正しました。(下線部参照)  (旧)なお、飛散物発生防止対策エリアに保管する設備は、風(台風)及び竜巻による風荷重を考慮し、固縛して保管する設計とする。 (新)なお、屋外の可搬型重大事故等対処設備に、竜巻により飛散して外部事象防護対象施設や同じ機能を有する他の重大事故等対処設備に影響を与えるものはない。	2022/2/1	
2	NS2-添1-027	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.6~8	サスペンションを有していない、可搬型ストレナ及び放水砲を誤って“車両型設備”に分類していたため”その他設備”に修正し、項番号を適正化しました。	2022/2/1	
3	NS2-添1-027	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.16	誤記を修正しました。(下線部参照)  (旧)・・・及び別添3-6「可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震性についての計算書」に、・・・ (新)・・・及びVI-2-別添3-6「可搬型重大事故等対処設備のうちその他設備の耐震性についての計算書」に、・・・	2022/2/1	
4	NS2-添1-027	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.16	<b>ボンベ設備は、ラック以外にボンベカードルもあることから、記載の適正化として等を追記しました。(下線部参照)</b> (旧)・・・耐震性を有するラックに収納し、・・・ (新)・・・耐震性を有するラック等に収納し、・・・	2022/2/1 2023/1/17	
5	NS2-添1-027	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.17	資料内で記載を統一しました。(下線部参照)  (旧)・・・固縛装置にて固縛することで、・・・ (新)・・・固縛装置で固縛することで、・・・	2022/2/1	
6	NS2-添1-027	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.19, 22, 26	資料間で記載を統一しました。(下線部参照)  (旧)・・・その量が小さなレベルにとどまって・・・ (新)・・・その量が微小なレベルにとどまって・・・	2022/2/1	
7	NS2-添1-027	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.21	“表6-1 車両型設備の構造計画”中の誤記を修正しました。(下線部参照)  (旧)・・・以下のエリアに保管する設計としている。 (新)・・・以下のエリアに保管する設計とする。	2022/2/1	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
8	NS2-添1-027	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.23	<p>“表6-2 ポンベ設備の構造計画”についてボンベラックとボンベカードルを分けて記載しました。(下線部参照)</p> <p>(旧)ポンベ設備は、ポンベ(窒素ポンベ又は空気ポンベ)、ボンベラック等により構成する。ポンベは容器として十分な強度を有する構造とし、固定ボルトによりボンベラックに固定し、ボンベラック等を溶接又は取付ボルトにより床、壁又は架台に据え付ける。</p> <p>(新) <u>(ボンベラック)</u>  <u>ボンベラックは、溶接にて組み立てたフレームにポンベを固定する構造である。</u>  <u>ボンベラックは、壁又は床面に設定したアンカプレートに溶接で固定する。</u>  <u>(ボンベカードル)</u>  <u>ボンベカードルは、ポンベ(空気ポンベ)を固定するボンベカードル及びこれを支持する取付架台により構成する。</u>  <u>ボンベカードルは、取付架台に取付ボルトで固定し、取付架台は埋込金物に溶接で固定する。</u></p>	2022/2/1	
9	NS2-添1-027	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.25	<p>”図6-4 ポンベ設備(カードル型)”について、記載の適正化を行いました。</p> <p>&lt;追加&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋込金物</li> <li>・取付架台</li> </ul>	2022/2/1	
10	NS2-添1-027	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.26	<p>資料内で記載を統一しました。(下線部参照)</p> <p>(旧)・・・固縛装置等にて設置用フレーム・・・  (新)・・・固縛装置等で設置用フレーム・・・</p>	2022/2/1	
11	NS2-添1-027	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.26, 30	<p>“地震力”という言葉に“荷重”の意味が含まれるため、記載を適正化しました。(下線部参照)</p> <p>(旧)基準地震動<math>S_s</math>による地震力による荷重に対する耐震計算・・・  (新)基準地震動<math>S_s</math>による地震力に対する耐震計算・・・</p>	2022/2/1	
12	NS2-添1-027	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.27	<p>“表6-3 可搬型空気浄化設備の構造計画”について、資料内の記載を統一しました。(下線部参照)</p> <p>(旧)緊急時対策所空気浄化送風機は剛構造とし、機器本体を固縛装置にて設置用フレームに固縛する。送風機及び原動機は取付ボルトにて緊急時対策所空気浄化送風機に固定する。  (新)緊急時対策所空気浄化送風機は剛構造とし、機器本体を固縛装置で設置用フレームに固縛する。送風機及び原動機は取付ボルトで緊急時対策所空気浄化送風機に固定する。</p>	2022/2/1	
13	NS2-添1-027	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.34	<p>”図6-11 ラック固縛保管”について、誤記を修正しました。</p> <p>&lt;変更&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎ボルト(メカニカルアンカ) → 基礎ボルト</li> </ul> <p>&lt;削除&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・棚板固定金具</li> <li>・棚板取付ボルト</li> <li>・棚板</li> <li>・中継コード</li> </ul>	2022/2/1	
14	NS2-添1-027改01	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.6	<p>分類が明確となるよう、記載を適正化しました。(下線部参照)</p> <p>(旧)・・・固縛装置で固縛する設備を可搬型空気浄化設備として分類する。  (新)・・・固縛装置で固縛する空気浄化設備を可搬型空気浄化設備として分類する。</p>	2023/1/17	
15	NS2-添1-027改01	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.23	<p>表6-2のポンベ設備の「計画の概要」欄の記載をVI-2-別添3-4と整合するように修正しました。</p>	2023/1/17	
16	NS2-添1-027改01	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.24,25	<p>図6-2、図6-3及び図6-4をVI-2-別添3-4の構造計画の図と整合するように修正しました。</p>	2023/1/17	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
17	NS2-添1-027改01	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.27	表6-3の可搬型空気浄化設備の「計画の概要」欄の記載をVI-2-別添3-5と整合するように修正しました。	2023/1/17	
18	NS2-添1-027改01	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.28	図6-5及び図6-6をVI-2-別添3-5の構造計画の図と整合するように修正しました。	2023/1/17	
19	NS2-添1-027改01	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.29	その他設備の構造設計として“(f) 筐体固縛保管(プラントパラメータ監視装置等)”を追記しました。 また、上記追記に伴い、概要図を追加したことから記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…概略図を図6-7～図6-11に示す。 (新)…概略図を図6-7～図6-12に示す。	2023/1/17	
20	NS2-添1-027改01	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.29	筐体固縛保管設備については構造強度評価をすることから記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…加振試験により確認する。 (新)…加振試験又は構造強度評価により確認する。	2023/1/17	
21	NS2-添1-027改01	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.29,30	その他設備の構造設計として筐体固縛保管を追記したことに伴い、6.3「(4) その他設備」の「a. 構造設計の(f)」及び「b. 評価方針の(a)構造強度、(b)転倒及び(d)波及的影響」に筐体保管設備に関する記載を追加しました。 また、上記に伴い筐体保管設備以外の記載を明確化しました。	2023/1/17	
22	NS2-添1-027改01	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.31,32	表6-4のその他設備の「計画の概要」欄の記載をVI-2-別添3-6と整合するように修正しました。 また、「筐体固縛保管:プラントパラメータ監視装置の例」の記載を追加しました。	2023/1/17	
23	NS2-添1-027改01	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.33,34	図6-9及び図6-11をVI-2-別添3-6の構造計画の図と整合するように修正しました。	2023/1/17	
24	NS2-添1-027改01	VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針	P.35	図6-12として「その他設備(筐体固縛保管)」を追加しました。	2023/1/17	
25	NS2-添1-027改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針)	P.1	“筐体固縛保管”の追記に伴い、表に⑫、⑬を追記しました。	2023/1/17	
26	NS2-添1-027改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針)	P.11	資料内で語句を統一するよう、備考の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…カードルに保管する… (新)…ボンベカードルに保管する…	2023/1/17	
27	NS2-添1-027改01(比)	先行審査プラントの記載との比較表(VI-1-1-7-別添2 可搬型重大事故等対処設備の設計方針)	P.39～41,46	“筐体固縛保管”の追記に伴い、備考を追記しました。	2023/1/17	